

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	リニア推進課	事業No.	45
事務事業名		会計	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始	S50	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画		12	リニア時代を支える都市基盤を整備する	
	分野別計画				
	法令・例規等				
事業目的		対象	リニア中央新幹線整備		
		意図	早期開業		

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	2027年開業に向け、J R 東海の工事計画について関係機関や地元地区と調整し進めました。地上区間の高架橋部及び駅部では、用地取得に向けた協議を進めています。トンネル区間では、中央アルプストンネルの掘削に向けた準備作業が進められ、風越山トンネルでは、駅西側のシールド工法による工事計画を策定しています。野底川以西で水資源事後調査を継続実施しています。上郷北条の駅西地区の市道整備は、用地買収、建物補償、埋文調査等を行いました。発生土置き場の候補地では、造成計画の地元説明を行い、維持管理計画の協議と測量・地質調査に向けた地元地区の調整を実施しました。リニア駅周辺整備のための基金を積み立てました。		リニア関連市道整備関連費 リニア推進事務費 リニア建設促進飯伊地区期成同盟会負担金 駅整備推進基金積立金(基金利子)				41,744 2,696 333 5,853				
活動指標	指標名(数値で表せる活動量)	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績	
	関係地区調整(H30まで用地関係者組合)	地区	1	1	2	2	11	11			
	リニア関連市道改良整備に係る調査計画	地区	2	2	2	2	2	2			
	環境影響評価事後調査水資源調査の実施	地区	7	5	6	6	6	6			
1年度決算(千円)	予算額	61,263	特定財源内訳及び補足事項								
	決算額	50,626	(国) 社会資本整備総合交付金(道路整備)(5/10)								
	財源の状況	国庫支出金	13,265	(地) 公共事業等(充当率90%)							
		県支出金	0	(そ) J R 東海負担金 14,266千円							
		地方債	11,900	(そ) 基金利子 5,853千円							
		その他	20,119	1→2 線越明許費 4,791千円							
一般財源	5,342										

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	2	1	17	10	1	55,410	44,773	リニア推進事業費
2	1	2	1	17	10	3	5,853	5,853	リニア中央新幹線飯田駅整備推進基金積立金
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		<ul style="list-style-type: none"> ・座光寺地区下段における環境対策工(防音防災フード)の課題解決に向けた調整が必要です。 ・水資源の事後調査結果に注視し、減水等の兆候が確認された場合には、関係機関と情報共有し、必要な措置を講じていただく必要があります。 ・発生土置き場の候補地は、万全な安全対策と下流域地区の理解が必要です。 							
上記の課題解決のための有効策		<ul style="list-style-type: none"> ・環境対策工の課題解決に向け、地元の意向に沿った形で具体的な環境保全措置を示すよう調整を図っていきます。 ・水資源の事後調査結果の公表と対策について、J R 東海と調整します。 ・発生土置き場の候補地は、下流域地区等への十分で丁寧な説明を求めていきます。 							
次年度に向けての取り組み		<ul style="list-style-type: none"> ・J R 東海や県等と連携・協議調整し、地権者・地元地区との合意形成のもとに事業を進めます。 ・上郷北条地区における道水路の機能回復工事着手に向けて、北条地区と調整し工事説明会を開催します。 ・座光寺地区における道水路の機能回復工事に向け、地権者協議と用地取得を進め、埋蔵文化財調査を実施します。 							